

高砂市議 一人会派 緑の党グリーンズジャパン

井奥まさきの市政ニュース

2016. 1

(月刊+：1月号 通算 107号)



[自宅] 兵庫県高砂市荒井町新浜 2-19-9

Tel 079-444-2343 Fax 444-2418

E-mail:iokuioku3@gmail.com

http://ioku3.sakura.ne.jp 新ブログも

ツイッター：@ioku3 Facebook・LINE: 井奥雅樹

「井奥まさき」
で web 検索を

2016年 「観客席から飛び出して」市政・国政について考えましょう!

2016年は選挙イヤー

皆さん、新しい年が始まります。いい年にしたいですね。

さて、2016年は4月に高砂市長選挙、7月に参議院選挙が行なわれることが決まっています。7月には衆参ダブル選挙を行なうということも噂されています。

「そんなこと言ってもろくな政治家がいらない」と嘆く声が多いのですが、民主主義は時間がかかるものです。70点と80点ではなく、20点と30点のレベルから選ぶ場面もあるかもしれません。それでも「選び続けること」で少しでもいい社会が実現します。観客席から眺めて情報収集し、「少しでもいい候補者」に投票するのが最低限の第一歩です。

今年は観客席から飛び出しを

でも2016年はさらにもう一歩前に進みませんか?選挙は本来は「参加」しないと大きな力にはなりません。政治家は「カネ・票・情報」のある側に吸い寄せられてしまいます。私たち一人一人は小さな力ですが、「投票」での参加だけでなく「選挙活動」への参加も通じてより大きな力を持つことができます。観客席から飛び出し、選挙活動に少しずつでも参加することで「1票だけ」よりも大きな力で政治を変えることができます。

イベント参加や口コミからはじめましょう

国政ではママの会など市民団体が野党統一の動きを呼びかけてい

高砂市議 井奥まさき

ます。兵庫県でも市民と5党(民主・共産・社民・新社会・緑の党)の公開討論会が行われ、私は緑の党からの発言者として参加しました。こうしたイベントに参加するのも第一歩です。

高砂市政においても現職の登市長は出馬表明。これから対立候補の動きも活発化するでしょう。まず周りの方と市政について話をすることは非常に重要です。狭い高砂市だと口コミの力も大きな力になります。他にも市政報告会・勉強会などに参加する、ネット上などで意見を表明するなどできることを行なうことがその後の市政改善にもつながります。

ぜひ2016年選挙イヤーは政治の「観客」から「参加者」へ。

バス じょうとんバス むやみなルート拡張より路線集中と福祉バス充実を

	路線バス(緑ナンバー)	福祉バス(白ナンバー)
種類	路線バス、コミュニティバス(じょうとんバス)	施設への送迎バス(福祉バス、スクールバスなど)
届出	国へ届出が必要	届出は不要
運転免許	二種(乗客を乗せるもの)	一種(普通の免許証)
対象	不特定多数	施設利用者
料金	有料(じょうとんバスは100円か200円)	無料(料金はとれない)

	1便あたりの人数(平日)	一人あたりの市の負担
①系統(高砂、宝殿など)	9.6人	140円
②系統(市内ループ)	4.2人	730円
③系統(JR曾根、大塩など)	2.1人	1070円
④系統(梅井、市民病院)	1人	2400円

市の基準では、一人あたり1000円以上の負担は「路線廃止」

2月よりダイヤ改正なのですが

今年2月より「じょうとんバス」の路線が追加され、ダイヤ改正が行なわれます。バスを1台増便して「新しい施設を回る」「空白地解消」というのですが、甘い見積もりでもすでに1000万円増の年間で約5000万円の支出が予定。

12月議会で私や他の議員が指摘して「平均0~1人しか乗車していない区間(数日間乗車ゼロの路線も)」や「廃止基準レベルの路線」があることが判明しました。

福祉バスという選択肢を

路線バスは採算ラインを厳格に守るべきです。「ピンクのバスを

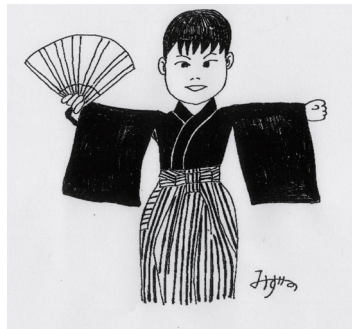
近所に走らせればいい」かのような意見を聞きすぎると最終的には税金のムダな支出につながります。登市長が行なう「バラマキ政治」の典型例です。私は「路線の集中」と「無料の市民病院行き福祉バスを新設し、充実(休日はアスパ行きなど)」を提言しています。

1月17日に施設の管理計画に向けた勉強会を市議会で開催。14時市役所南庁舎です。

高砂市長選挙は今年4月3日告示、10日投票と決定

参議院議員選挙は7月予定ですが、正確な日程は流動的です。

子育て日記



仕舞に興味を持つ息子 韓国ドラマにはまる娘 自国と他国の文化への興味を大切に

度は「仕舞をもう少しきちんと習いたい」と言い出しています。

一方、娘は韓国ドラマに夢中です。ラブシーンを見て「キュンキュンする」と立ち上がってピョンピョン飛びながら見えています。「アラッソってどういう意味? ※注」とか韓国語にも興味があるようです。そのかたわらお茶や剣道を習っています。

その気持ちを大切に

私は世界各国を回ってきましたが、「日本から来た人、何かやっ

てよ」と言われて「スキヤキソング」を歌うくらいしかできませんでした。(名曲「上を向いて歩こう」は世界では「スキヤキソング」と呼ばれて広く知られています。)

偏狭なナショナリズムではなく、他国の文化を尊重するためにも自分たちの文化を知り、大事にすることはとても大事です。息子や娘の自分たちの文化の学びや他国文化への興味を応援したいと思います。

※注 アラッソ = 「わかった」という意味だそう

ほめられてさらに仕舞に興味が

9月に息子は観月能の前座で能舞台に出させていただきました。簡単な舞だったのが良かったのか「堂々としているね」とあちこちからお褒めの言葉をもらいました。どこまでも突き進む息子は今

気候変動対策 大規模な石炭火力発電所の計画は燃料変更か縮小を

11月30日からのパリでの気候変動枠組条約をめぐる第12回目の会議(COP21)では先進国だけでなく、途上国も含めた目標設定が話し合われました。そして、12月13日未明に画期的な合意が交わされました。世界196カ国の国・地域が温室効果ガス削減を約束したのです。世界の年平均気温が昨年最高値(プラス0.4度)を更新したり、台風が時期はずれに大量に発生するなど気候の乱れが生活実感になっています。

京都議定書以来の素晴らしい合意に拍手を送りたいと思います。

しかし、そうした世界的な流れに逆らうように日本では大規模なCO2排出源となる石炭火力発電所の新設計画が進行しています。

高砂市でも50万KWの現在の発電所を倍以上に増やす120万KWの計画があり、環境アセスメントもすでに4段階中2段階が終了しています。

兵庫県は石炭火力発電所の計画数で全国第2位の多さです。赤穂

市、神戸市とそして私たちの高砂市が対象です。赤穂市の説明会では「当面は石炭火力発電でコスト競争に打ち勝ち、将来的には原発稼働でCO2発生抑制を果たす」と意図を説明していました。

CO2発生抑制と市民の安全のためには省エネルギーと再生可能エネルギー普及しかありません。

一般質問で「天然ガスなどへの計画変更」や「せめて半分の規模への計画縮小」を相手企業に意見するように市に提言しました。

選択的夫婦別姓 選択的夫婦別姓を求める意見書提出の提案は僅差で否決に

賛成9 井奥/公明(砂川、迫川、森)/未来ネ(鈴木、北野、木谷)/共(大塚、坂辺)
反対11 新国会(池本、入江、藤森、川端、北畑)/明風会(鷹尾、島津、石崎)/民主(横山、福元)/生嶋
※今竹議長は議長のため採決に加わらず

夫婦の別姓議論について誤解されている人が多いと思います。現在の法律がいわば「強制夫婦同一姓」制度というもので、「同一姓以外の選択肢を制度として認めよう」というのが「選択的夫婦別姓」制度なのです。これは数の大小の問題ではなく、市民の自由な選択の保証の問題です。

制度論と個人的な志向や考えをどっちゃんにして「子どもが混乱す

る」「家族制度が崩壊する」「伝統を守るため」という反対意見があったのにはびっくりしました。

私は「保守あるいは主流派と言われる方は現実主義と自己規定されているのだから、すでに多様な家族が存在するという『現実』を見てほしい。そして、同一姓を多くしたい、伝統を守りたいという方はそれを大切に普及に努めればいい。しかし、同一姓が嫌と

いう人にも違う選択肢を用意しようというのが今回の意見書の趣旨。そこは保守の度量を見せて多様な選択制度を認めてはどうか。多様な選択肢のある社会の方が『豊か』ではないか」と指摘しました。

担当の委員会で公明党が踏ん張り可決。本会議でも僅差にまで持ち込みましたが、残念ながら否決となりました。残念です。